

関西ブロードバンド ADSLモデム BR10A-C2H (ルータタイプ) スタートアップ マニュアル

Ver.3.0.3



- 本書には、製品を安全にご使用いただくための注意事項が記載されています。ご使用になる前に必ずお読みになり、大切に保管して下さい。
- お読みになった後は、後々お役に立つこともありますので、大切に保管してください。

関西ブロードバンド株式会社

0. はじめに - 厳守事項 -

0.1 ID とパスワードの取扱いについて

ADSL モデムの PPP 設定時に使用する PPP アカウントと PPP パスワードはお客様の大切な個人情報です。入力はずお客様自身で行ってください。
また、他人に知られないよう保管してください。

0.2 マニュアルの内容について

機能追加などにより本紙の内容は予告なく変更されることがあります。機能追加や変更などに関するサポート情報につきましては、随時、弊社のホームページを通じて公開させていただきます。

0.4 安全にお使いいただくために

本製品を安全に正しくお使いいただき、あなた様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、次の事項を必ずお読みください。お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保管してください。

使用している警告表示の意味



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

使用している絵記号の意味



記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

ご使用にあたってのお願い

- ADSL モデムの故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外的要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ADSL モデムを人命に関わる高い安全性が必要とされる環境下では、使用しないでください。
- ADSL モデムを分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。



警告



電源コードのタコ足配線はしないでください。
火災・過熱の原因となります。



開口部から内部に金属類を差し込んだり落としたりしないでください。
火災・感電の原因となります。



濡れた手で、ADSL モデムに触れたり電源プラグを抜き差ししないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

	電源コードあるいは電源アダプタのコードに重いものを載せたり加熱したり引っ張ったりしないでください。コードが破損し火災・感電の原因となります。
	ADSL モデムの上や近くに花瓶、コップ、化粧品、薬品、植木鉢など、水類の入った容器または小さな金属類を置かないでください。水がこぼれたり、ADSL モデムの中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。
	ADSL モデムは AC100V±10V の電源電圧で動作するように設計されています。 この電源電圧以外の電圧で使用しないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
	ADSL モデムの分解や改造はしないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
	PC ポートに接続したネットワークケーブルを、商用電源、アナログ電話回線、デジタル電話回線(ISDN)、PBX デジタル電話回線などには接続しないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
	付属あるいは指定の電源アダプタ以外は使用しないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
	ADSL モデム及び付属のコードをストーブ等の火気に近づけないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
	電源プラグをショートしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	ADSL モデムに表示された電源電圧以外では絶対に使用しないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
	電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)お問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
	電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。 電源プラグの端子に金属などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。
	内部の点検・修理などの作業はお問い合わせ先にご依頼ください。
	ADSL モデムを取り付け・使用する際は、必ず使用するパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意を確認し、それに従ってください。
	近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。落雷によっては火災・感電・故障の原因となります。

	万一、ADSL モデムを落とししたり、破損した場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お問い合わせ先にご連絡ください。 そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
	万一、内部に水・異物などが入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
	煙が出ている、異臭がするなどの場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してお問い合わせ先に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

⚠ 注意

	調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	ちり、ほこりの多い場所や、潮風、腐蝕性ガスのかかる場所には置かないでください。また、化学反応を起こすような場所(実験室など)には、設置しないでください。誤動作や故障の原因となることがあります。
	振動が多い場所には設置しないでください。誤動作や故障の原因となります。
	テレビ・電子レンジなど強い磁界やノイズ発生源から離して設置してください。誤動作や故障の原因となることがあります。
	ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
	直射日光のあたるところや湿度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がると、火災・故障の原因となることがあります。
	ADSL モデムは横置きを前提に設計されています。縦置きや逆さまの状態では設置・運用しないでください。内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。
	ADSL モデムの通風口をふさがないでください。通風口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。
	ADSL モデムの上に手をついたり、踏みつけたり、物を載せないでください。火災や故障の原因となります。

	<p>落下させるなどの強い衝撃を与えないでください。 誤動作や故障の原因となることがあります。</p>
	<p>接続されているケーブルを強く引っ張らないでください。 故障の原因となることがあります。</p>
	<p>本体を清掃するときは、水を含んだ布をかたく絞って拭いた後、柔らかい布で乾拭きしてください。揮発性のあるシンナーやアルコール及びシリコン系クリーナーなどの使用は絶対に避けてください。変色、変形、破損の原因となることがあります。</p>
	<p>電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグ本体を持って抜いてください。 コードを引っ張ると、コードが傷ついて火災・感電の原因となることがあります。</p>
	<p>ADSL モデムを移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、回線コードなど外部の接続線を外したことを確認の上、行ってください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電・故障の原因となります。</p>
	<p>ADSL モデムが置かれる場所の材質によっては、ゴム足の成分が表面に移行し、表面が汚れる場合があります。</p>
	<p>高級家具の上などの表面が熱に弱い場所には ADSL モデムを置かないでください。表面が変色・変形する場合があります。</p>
	<p>水滴が付いたら、乾いた布でふき取ってください。 内部に水滴が入ると火災・故障の原因となることがあります。</p>
	<p>お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。</p>
	<p>結露のないように注意してください。周囲温度の急激な変化によって ADSL モデム内部が結露した場合、ADSL モデムが周囲の温度になじむまで1時間程度放置してから電源を入れてください。</p>
	<p>電源プラグは、定期的にコンセントから抜いて金属端子部分を清掃してください。電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、ホコリが付着し、ショートして、火災・故障の原因となります。</p>
	<p>静電気による破損を防ぐため、ADSL モデムに触れる前に、身近な金属(ドアノブやアルミサッシなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。人体などの静電気は、ADSL モデムを破損、またはデータを消失・破損させるおそれがあります。</p>

電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。近接して使用しないで下さい。

瞬時電圧低下について

ADSL モデムは、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時出力低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めいたします。

<レンタルモデムの保障範囲について>

モデム買取りのお客様につきましては、
別途保証書をご用意しておりますので、ご確認ください。

弊社 ADSL サービスをご利用のお客様につきましては、モデムの故障が発生した場合、その期間に関係なく、交換対応可能です。ただし以下の場合には、無償保障対象外の扱いとなりますので、ご了承ください。

- 1) お引渡し後の移動、転落等により故障および破損が発生した場合。
- 2) 火災、地震、風水害、落雷、その他天変地異、塩害、公害や異常電圧等による故障および損傷。
- 3) ご使用上の誤り、お客様ご自身による修理や改造による故障および損傷の場合。

*上記の場合のモデム送料等につきましては、お客様負担となりますので、ご了承ください。

も く じ

1	作業をはじめる前に	1
1.1	お客様にてご用意いただくもの	1
1.2	梱包内容のご確認	1
2	ADSL モデムについて	2
2.1	前面パネル/LED ランプ	2
2.2	背面パネル/コネクタ	3
3	セットアップ手順	4
4	通信機器の接続方法	5
5	電源投入後のご確認 (LED ランプ点灯について)	6
6	接続するパソコンの設定 (TCP/IP プロトコル)	7
6.1	パソコンの設定 Windows 95/98/Me	7
6.1.1	設定の確認	10
6.2	パソコンの設定 Windows 2000	11
6.2.1	設定の確認	14
6.3	パソコンの設定 Windows XP	15
6.3.1	設定の確認	19
6.4	パソコンの設定 Windows NT	20
6.4.1	設定の確認	23
7	ADSL モデムの設定方法	24
7.1	ダイヤルアップからの設定変更	25
7.2	モデム設定画面へのログイン	26
7.3	モデム設定	27
7.4	モデム設定の確認	29
8	インターネットに接続する	30
8.1	インターネットに接続する	30
9	MacOS をお使いの方は	31
9.1	パソコン (TCP/IP プロトコル) の設定 MacOS 9.04 以降	31
9.1.1	設定の確認	33
9.2	パソコン (TCP/IP プロトコル) の設定 MacOS X	34
9.2.1	設定の確認	37
9.3	インターネットに接続する	38
10	困ったときは	39

- Windows 95/98/Me/2000/XP/NT、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- MacOS は米国 Apple Computer Inc. の登録商標または商標です。
- その他、記載されている会社名および製品名は、各社の登録商標または商標またはサービスマークです。
- 本紙の本文中では®、TM マークは明記していません。
- 本紙で紹介されている内容は 2003 年 4 月 1 日現在のもです。

1. 作業をはじめる前に

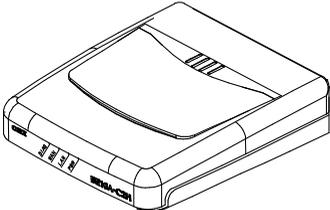
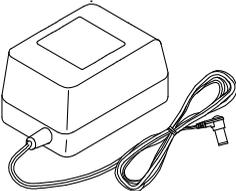
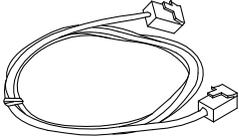
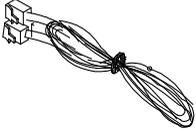
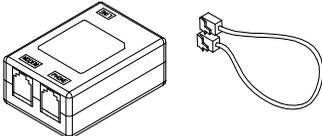
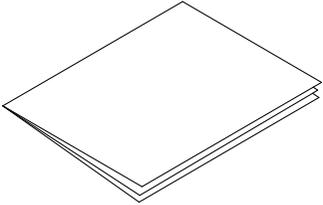
関西ブロードバンド ADSL サービスにご加入いただき、まことにありがとうございます。
本マニュアルでは、関西ブロードバンド ADSL サービスのセットアップ手順をご紹介します。
いたします。

1.1 お客様にご用意いただくもの

- ・ パーソナルコンピュータ (推奨 OS: Win95/98/98SE/Me/NT/2000/XP、およびそれ以降)
- ・ 100Base-TX または 10Base-T(※1)に対応した LAN カードまたは LAN ボード
※1 これらに対応した LAN インタフェースを内蔵しているパーソナルコンピュータをご使用する場合は必要ありません。

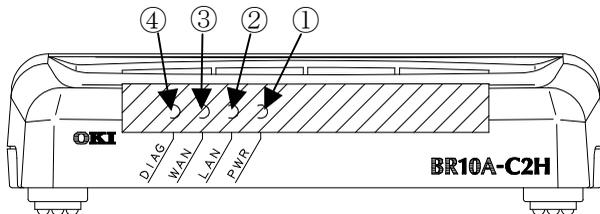
1.2 梱包内容のご確認

以下の製品がそろっているか確認してください。

 <p>ADSL モデム(1 台) <OKI BR10A-C2H></p>	 <p>電源アダプタ(1 個)</p>
 <p>LAN ケーブル(ストレート:1 本)</p>	 <p>モジュラーケーブル(1 本)</p>
 <p>スプリッタ(本体+LINE 接続用モジュラー ケーブル 1 本含む:1 セット) ※TYPE2 でご契約の場合は梱包してありません。</p>	 <p>スタートアップマニュアル(本紙:1 冊)</p>

2. ADSL モデムについて

2.1 前面パネル/LED ランプ



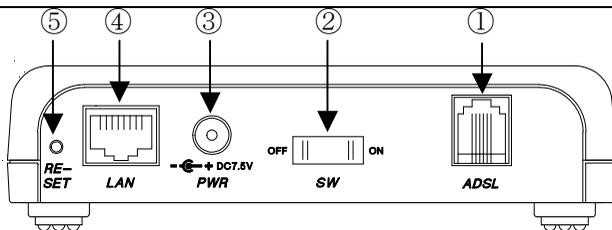
ランプ	色	説明
①PWR	緑	ADSL モデムに電源が入ると点灯します。
②LAN	緑点灯 緑点滅	LAN 回線(PC 側)利用可能です。 通信中で点滅します。
③WAN	緑点灯 緑点滅 消灯	WAN 回線(ADSL 側)が利用可能です。…注1) PPP 接続中です。 WAN 回線は使用できません。
④DIAG	橙点灯 橙点滅 (1 秒間隔程度) 橙点滅 (1 秒間に 2 回程度点滅) 消灯	装置異常です。 信号無入力状態です。 ADSL トレーニング中です。…注2) ADSL Show Time 中です。…注3)

注 1) WAN とは Wide Area Network の略で、ここではモデムより外側の ADSL 回線側を指しております。

注 2) トレーニング中とは繋がっている電話回線でどれだけの速度が出るか調べている状態のことです。

注 3) Show Time 中とは、ADSL のリンクが確立した状態のことです。リンクが確立した時点で、回線の速度が決定します。

2.2 背面パネル/コネクタ



	説明
①ADSL	スプリッタの「MODEM」と書かれたポートと接続します。
②SW	電源スイッチ。「ON」側で電源オン。「OFF」側で電源オフ。
③PWR DC7.5V	電源コネクタ。電源アダプタを接続します。
④LAN	イーサネットポート。パソコン(LAN カード)と付属の LAN ケーブルで接続します。
⑤RESET	このボタンは押さないでください。 【注意】リセット操作を行うと通信できなくなりますので、お客様ご自身での操作は行わないようお願いいたします。

3. セットアップの手順

手順 1. 接続前の準備

作業の前に必ずパソコンの電源を切ってください。
(パソコンの電源を切らずに作業を行うと、パソコンの IP アドレスが取得できず、インターネットに接続できません。)

手順 2. 通信機器を接続する

5 ページ「4. 通信機器の接続方法」をご参照ください。

手順 3. ADSL モデムの電源を入れる

6 ページ「5. 電源投入後のご確認 (LED ランプ点灯について)」をご参照ください。

手順 4. パソコンの電源を入れる

パソコンの電源を入れて下さい。
(接続終了後も、常に ADSL モデム→パソコンの順で立ち上げるようにしてください。)

手順 5. パソコンの設定

7 ページ「6. 接続するパソコンの設定 (TCP/IP プロトコル)」をご参照ください。

- Windows 95/98/Me の設定・確認 7 ページの 6.1 へ
- Windows 2000 の設定・確認 11 ページの 6.2 へ
- Windows XP の設定・確認 15 ページの 6.3 へ
- Windows NT の設定・確認 20 ページの 6.4 へ

※ MacOS をお使いの方は、31 ページ「9. MacOS をお使いの方は」をご参照ください。

- MacOS 9.04 以降の設定・確認 31 ページの 9.1 へ
- MacOS X の設定・確認 34 ページの 9.2 へ

手順 6. ADSL モデムの設定

24 ページ「7. ADSL モデムの設定」をご参照ください。

手順 7. インターネットに接続する

29 ページ「8. インターネットに接続する」をご参照ください。

※ MacOS をお使いの方は、38 ページ「9.3 インターネットに接続する (MacOS 9.04 以降/X 共通)」をご参照ください。



注意

上記のセットアップ手順は、ADSL モデムの設置時だけでなく、通常使用される際にもこの順序で行ってください。

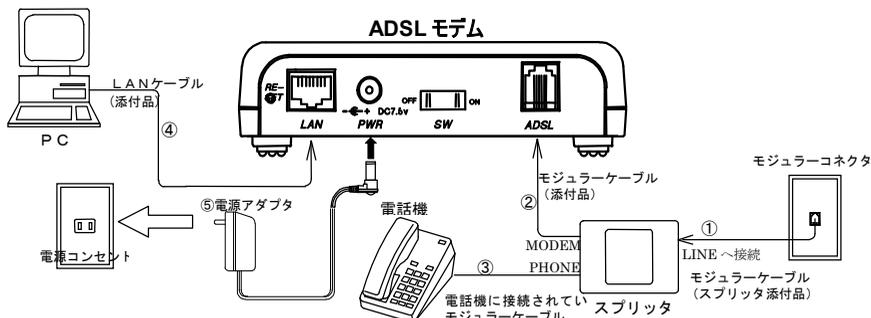
4. 通信機器の接続方法



注意

パソコンの電源は切った状態で作業してください。

通信機器の接続構成を次に示します。(接続構成は利用環境によって若干異なります。)



手順 1. スプリッタの取り付け

ご使用中の電話回線用モジュラーコネクタ(差し込み口)から電話機のケーブルを取り外し、添付のモジュラーケーブル(図中①)でスプリッタの「LINE」と書かれたコネクタと電話回線用モジュラーコネクタを接続します。

手順 2. スプリッタとADSL モデムの接続

スプリッタの「MODEM」と書かれたポートと、ADSL モデムの「ADSL」と書かれた差し込み口を添付のモジュラーケーブル(図中②)で接続します。

手順 3. スプリッタと電話機の接続

スプリッタの「PHONE」と書かれたポートと、これまで使用していた電話機をこれまで使っていたモジュラーケーブル(図中③)で接続します。この状態で、一般の電話回線(公衆網)を通した通話が可能になります。電話機の受話器を取って「ツー」という発信音が聞こえたら、電話機の接続確認は完了です。(タイプ2でご契約の場合、スプリッタは使用しません)

手順 4. ADSL モデムとパソコンの接続

ADSL モデムの「LAN」と書かれた差し込み口と、パソコン(LAN カード)を添付の LAN ケーブル(図中④)で接続します。

手順 5. ADSL モデムと電源アダプタの接続

ADSL モデム裏面の「SW」と書かれたところが「OFF」側に倒れていることを確認して下さい。添付の電源アダプタのケーブル(図中⑤)を ADSL モデムの「PWR DC 7.5V」と書かれた端子に接続して、電源アダプタを電源コンセントに差し込んでください。

※ 6 ページ「5. 電源投入後のご確認(LED ランプ点灯について)」に従って、LED ランプの点灯状態をチェックしてください。

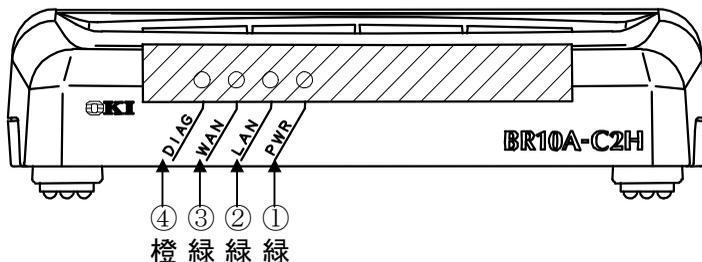


注意

※差し込み口が 2 つ以上ある壁の電源コンセントに本製品の電源プラグと他の電気製品の電源プラグを差し込む場合には、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。

5. 電源投入後のご確認 (LED ランプ点灯について)

LED ランプは、ADSL モデムが現在どのような状態にあるかを表します。次に LED ランプの点灯例を示します。



5.1 電源を投入したときのご確認

ADSL モデム裏面の「SW」と書かれたところを「ON」側に倒した際に、DIAG ランプ点滅が始まります。約 30 秒の準備時間が終了後、以下のランプ点灯状態を確認してください。

ランプ名称	正常なランプ状態	正常なランプ状態で無いときは?
①PWR	緑点灯	コンセントに電源アダプタが繋がっていることをご確認ください。 ADSL モデム裏面の電源ジャックに電源アダプタのプラグが完全に差し込まれていることをご確認ください。
③WAN	緑点滅または点灯	④DIAG ランプをご確認ください。
④DIAG	消灯	ADSL モデム裏面の「ADSL」ポートとスプリッタの「MODEM」ポート間にモジュラーケーブルが確実に接続されている事をご確認ください。

ご確認頂いたランプが、上記以外の点灯状態を示したときは、5 ページ「4.通信機器の接続方法」の手順をもう一度ご確認ください。

5.2 パソコンを接続したときのご確認

ADSL モデムの「LAN」ポートに接続されているパソコンの電源を投入した際、「②LAN ランプ」が緑点灯することを確認してください。

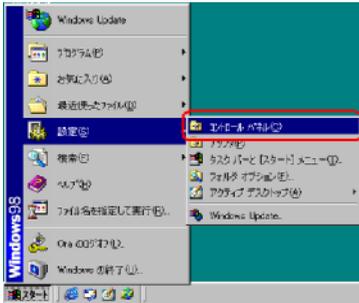
ランプ名称	正常なランプ状態	正常なランプ状態で無いときは?
②LAN	点灯	ADSL モデム裏面の「LAN」ポートに、添付の LAN ケーブルが確実に接続されていることをご確認ください。また、ADSL モデムとパソコンを接続する場合は、ストレートケーブルです。クロスケーブルを使用していないことをご確認ください。

6. 接続するパソコンの設定 (TCP/IP プロトコル)

6.1 パソコンの設定: Windows 95/98/Me の場合

LAN カードの取り付けとドライバのインストールは、ご使用機器メーカーのインストール指示に従い、あらかじめ行っておいてください。

(1) コントロールパネルを開く



Windows 95/98/Me を起動して「スタート」メニューから「設定(S)」→「コントロールパネル(C)」を選択して、コントロールパネルを開きます。

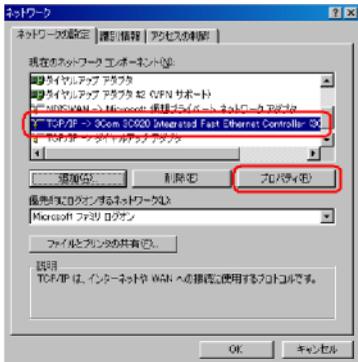
(2) ネットワークのプロパティを開く



コントロールパネルから「ネットワーク」のアイコンをクリックまたはダブルクリックをして開きます。

※ Windows Me において、コントロールパネルに「ネットワーク」のアイコンが表示されていない場合は、画面に表示されている「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」という箇所を選択してください。

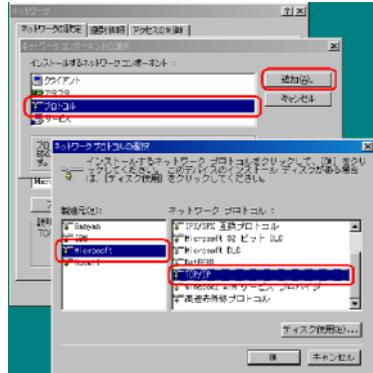
(3) TCP/IP のプロパティを開く



「現在のネットワークコンポーネント(N)」一覧から「TCP/IP」または「TCP/IP -> <LAN カードの名前>」という項目を選択し(※)、「プロパティ(R)」ボタンをクリックします。

※ 一覧に「TCP/IP -> ダイアルアップ アダプタ」という項目が表示されている場合がありますが、これは ADSL モデムを使用する LAN カードの設定とは無関係ですので使用しません。

※ 一覧に「TCP/IP」あるいは「TCP/IP -> <LAN カードの名前>」という該当の項目がない場合「追加(A)...」ボタンをクリックしてください。「インストールするネットワークコンポーネント」の「プロトコル」を選択し、「追加(A)...」ボタンをクリックします。「製造元」は「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」は「Microsoft」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。これで「現在のネットワークコンポーネント(N)」一覧に TCP/IP が追加されます。



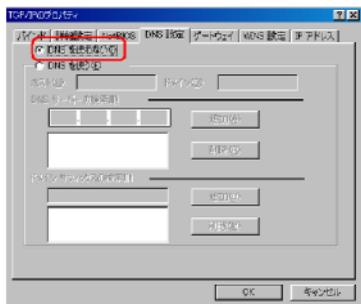
(4) IP アドレスの設定



「TCP/IP のプロパティ」が開いたら「IP アドレス」タブをクリックして画面を切り替えて、「IP アドレスを自動的に取得する(O)」を選択します。

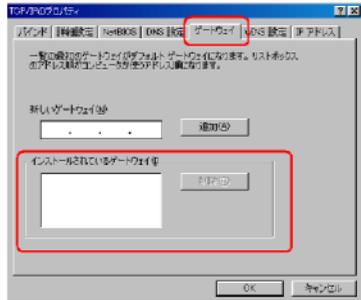
※Windows Me の場合は、「ネットワークメディアの接続を検出する」のチェックマークが外れていることを確認してください。

(5) DNS の設定



「DNS 設定」タブをクリックして画面を切り替え、「DNS を使わない(I)」を選択します。

(6) ゲートウェイの設定



「ゲートウェイ」タブをクリックして画面を切り替え、「インストールされているゲートウェイ(I)」に何も登録されていないことを確認します。この欄に何か登録されている場合は、そのアドレスをクリックして選択してから「削除(R)」ボタンをクリックして削除してください。

(7) TCP/IP のプロパティを閉じる

IP アドレス、DNS 設定、ゲートウェイを設定、確認したら「OK」ボタンをクリックして TCP/IP のプロパティを閉じます。

(8) ネットワークのプロパティを閉じる

ネットワークのプロパティに戻り、「OK」ボタンをクリックします。

※ 使用中のパソコンによって Windows の CD-ROM をセットするようというメッセージが表示されることがあります。その場合は、画面の指示に従って操作してください。

(9) パソコンの再起動

最後に「今すぐパソコンを再起動しますか？」というメッセージが表示されます。「はい(Y)」ボタンをクリックしてパソコンを再起動してください。

ネットワークの設定変更が必要なかった場合は、再起動を促すメッセージは表示されません。

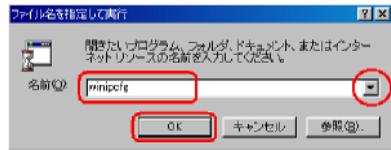
6.1.1 設定の確認：Windows 95/98/Me

パソコン(LAN カード)と ADSL モデムが正しく接続・設定されているか確認したい場合、Windows 95/98/Me では「IP 設定」から確認することができます。



(1) 「IP 設定」の起動

「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行(R)...」を選択しクリックします。
「名前(O)」の入力欄に「winipcfg」と入力し「OK」ボタンをクリックし実行します。



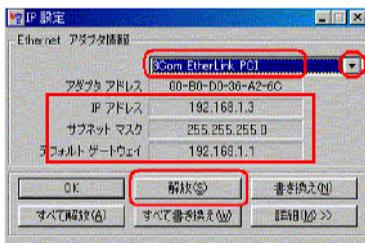
(2) IP アドレスの確認



「IP 設定」が起動したら、IP アドレスが取得できているかどうか確認します。

「Ethernet アダプタ情報」が「PPP Adapter.」と表示されている場合は右端のプルダウンメニュー▼をクリックして現在使用している LAN カード名を選択し変更してください。

(3) 「IP 設定」を閉じる



以下のような内容になっていれば、「OK」ボタンをクリックして「IP 設定」を閉じてください。

- IP アドレス…192.168.1.XX (XX は 2～33)
- サブネットマスク…255.255.255.0
- デフォルトゲートウェイ…192.168.1.1

※IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが正常に設定されていない場合は、パソコンの電源を切ってから電源やケーブルなどの接続を確認し再起動してください。

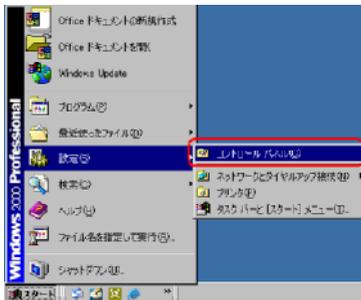
※ IP アドレスが「0.0.0.0」となっていたり「デフォルトゲートウェイ」が空白になっていたりする場合は、まず「解放(S)」ボタンをクリックして次に「すべて書き換え(W)」ボタンをクリックしてください。この操作で IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの欄に各情報が表示されれば設定の確認は完了です。次に、24 ページの ADSL モデムの設定に進んでください。

※ 各情報は上図で表示されているものと同じとは限りません。

6.2 パソコンの設定：Windows 2000 の場合

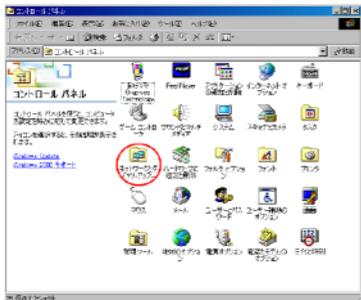
LAN カードの取り付けとドライバのインストールは、ご使用機器メーカーのインストール指示に従い、あらかじめ行ってください。

(1) コントロールパネルを開く



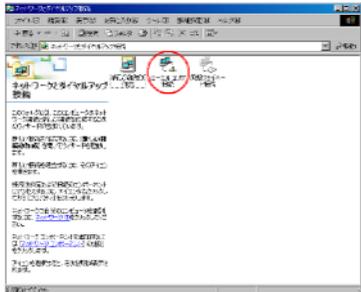
Windows 2000 を起動して「スタート」メニューから「設定 (S)」→「コントロールパネル (C)」を選択してコントロールパネルを開きます。

(2) 「ネットワークとダイヤルアップ接続」を開く



コントロールパネルの「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリックまたはダブルクリックして開きます。

(3) 「ローカルエリア接続」を開く



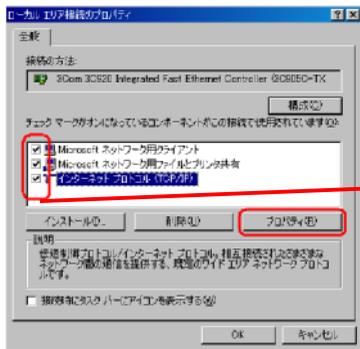
「ネットワークとダイヤルアップ接続」から「ローカルエリア接続」というアイコンをクリックまたはダブルクリックして開きます。

(4) 「ローカルエリア接続のプロパティ」を開く



「ローカルエリア接続の状態」が開いたら「プロパティ(P)」ボタンをクリックします。

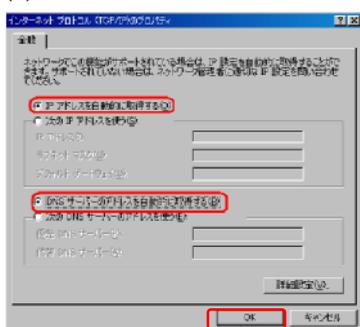
(5) インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティを開く



「ローカルエリア接続のプロパティ」を開いたら一覧に「インターネットプロトコル(TCP/IP)」という項目がありますので、これを選択し「プロパティ(R)」ボタンをクリックしてください。

※一覧に表示されているチェックは消さないでください。

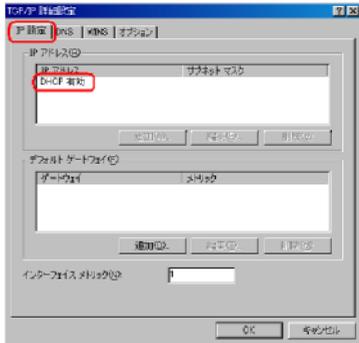
(6) IP アドレスと DNS の設定



「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」が開いたら、「IP アドレスを自動的に取得する(O)」と、「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)」を選択してください。

IP アドレスと DNS の設定を確認したら「詳細設定(V)...」ボタンをクリックして「TCP/IP 詳細設定」を開きます。

(7) DHCP 設定の確認



「TCP/IP 詳細設定」を開いたら「IP 設定」タブをクリックして画面をきりかえ、一覧に「DHCP 有効」という表示があるか確認します。

※ 「DHCP 有効」となっていない場合、(6)の画面で「IP アドレスを自動的に取得する(O)」と、「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)」を選択してあるか、再度チェックをしてください。

(8) 「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」を閉じる

IP アドレスの設定とDNS の設定 (DHCP 有効以外で、他は空白)を確認したら、「OK」ボタンをクリックして「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」を閉じます。

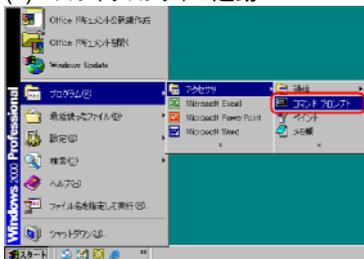
(9) 「ローカルエリア接続のプロパティ」を閉じる

「ローカルエリア接続のプロパティ」に戻ったら「OK」ボタンをクリックして閉じます。

6.2.1 設定の確認：Windows 2000

パソコン(LAN カード)と ADSL モデムが正しく接続・設定されているか確認したい場合、Windows 2000 ではコマンドプロンプトを起動して操作します。

(1) コマンドプロンプトの起動

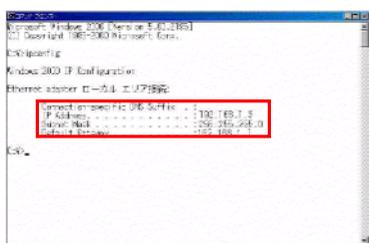


「スタート」メニューから「プログラム(P)」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」を順次選択していき、「コマンドプロンプト」をクリックして実行してください。

開きます



(2) ipconfig コマンド実行



コマンドプロンプトが開いたら、キーボードから半角英数字で「ipconfig」と入力し Enter キーを押します。ipconfig コマンドを実行すると、

- IP Address…192.168.1.xx (xx は 2～33)
 - Subnet Mask…255.255.255.0
 - Default Gateway…192.168.1.1
- の各情報が表示されます。

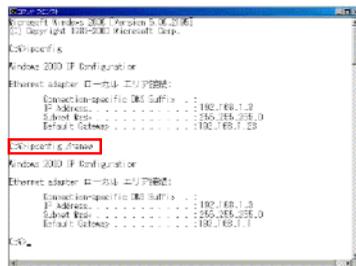
※IP Address、Subnet Mask、Default Gateway が上記の数値とは異なる場合は、半角英数字で「ipconfig /renew」と入力してください。IP Address、Subnet Mask、Default Gateway の各情報が再度表示されます。

※各情報が正常に設定されていない場合は、パソコンの電源を切ってから電源やケーブルなどの接続を確認し再起動してください。

※各情報は図で表示されているものと同じとは限りません。

※コマンドプロンプトを終了する場合は、キーボードから半角英数字で「exit」と入力し Enter キーを押します。

※IP Address、Subnet Mask、Default Gateway 欄に各情報が表示されれば設定の確認は完了です。次に、24 ページの ADSL モデムの設定に進んでください。



6.3 パソコンの設定： Windows XP の場合

LAN カードの取り付けとドライバのインストールは、ご使用機器メーカーのインストール指示に従い、あらかじめ行っておいてください。

(1) コントロールパネルを開く



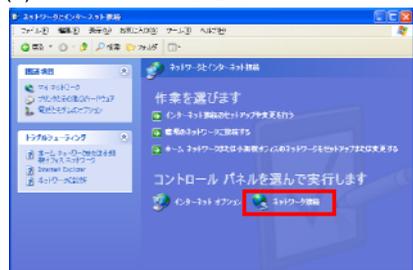
Windows XP を起動し、「スタート」メニューから「コントロールパネル (C)」をクリックしてコントロールパネルを開きます。

(2) 「ネットワークとインターネット接続」を開く



コントロールパネルの「ネットワークとインターネット接続」をクリックまたはダブルクリックして開きます。

(3) 「ネットワーク接続」を開く

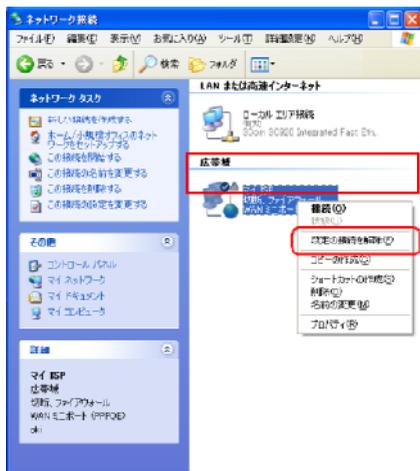


「コントロール パネルを選んで実行します」の中にある「ネットワーク接続」をクリックまたはダブルクリックして開きます。

(4) 「ローカルエリア接続」を開く



LAN または高速インターネット内の「ローカルエリア接続」をクリックまたはダブルクリックをして開きます。



※ 「ネットワーク接続」の「広帯域」の欄に、PPPoE 設定がされている場合には、PPPoE のアイコンを右クリックして、表示されるサブメニューの「既定の接続を解除(F)」を選択し、クリックしてください。(例では、「マイ ISP」となっています。)ADSL モデムを使い ADSL に接続するときは使用しません。

(4) 「ローカルエリア接続のプロパティ」を開く



「ローカルエリア接続の状態」が開いたら「プロパティ(P)」をクリックします。

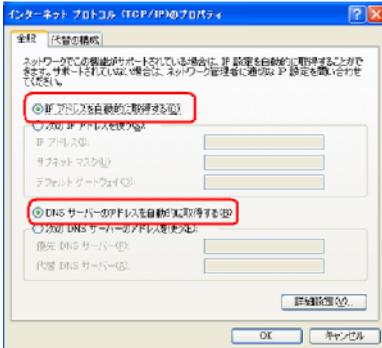
(5) インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティを開く



「ローカルエリア接続のプロパティ」を開いたら一覧に「インターネットプロトコル(TCP/IP)」という項目があるので、これを選択し「プロパティ(R)」ボタンをクリックしてください。

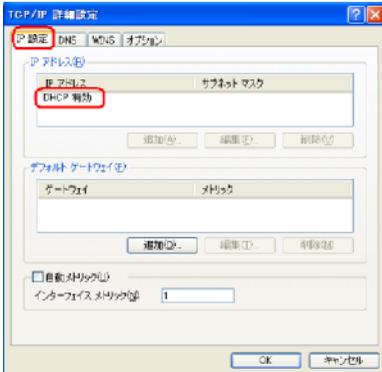
※一覧に表示されているチェックは消さないでください。

(6) IP アドレスと DNS の設定



「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」が開いたら、「IP アドレスを自動的に取得する(O)」と、「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)」を選択してください。

(7) DHCP 設定の確認



「詳細設定(V)...」ボタンをクリックして「TCP/IP 詳細設定」を開きます。

「TCP/IP 詳細設定」が開いたら「IP 設定」タブをクリックして画面を切り替え、一覧に「DHCP 有効」という表示があるか確認します。

※「DHCP 有効」となっていない場合、(6)の画面で「IP アドレスを自動的に取得する(O)」と、「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)」を選択してあるか、再度チェックをしてください。

(8) インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティを閉じる

「OK」ボタンをクリックして「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」を閉じます。

(9) 「ローカルエリア接続のプロパティ」を閉じる

「ローカルエリア接続のプロパティ」に戻ったら「OK」ボタンをクリックして閉じます。

6.3.1 設定の確認：Windows XP

パソコン(LAN カード)と ADSL モデムが正しく接続・設定されているか確認したい場合、Windows XP ではコマンドプロンプトを起動して操作します。



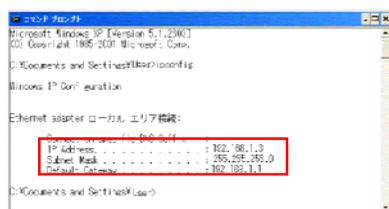
(1) コマンドプロンプトの起動

「スタート」メニューから「すべてのプログラム(P)」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」を順次選択して、「コマンドプロンプト」をクリックして実行してください。



開きます

(2) ipconfig コマンド実行



コマンドプロンプトが開いたら、キーボードから半角英数文字で「ipconfig」と入力し Enter キーを押します。ipconfig コマンドを実行すると、

- ・IP Address…192.168.1.xx (xx は 2～33)
- ・Subnet Mask…255.255.255.0
- ・Default Gateway…192.168.1.1

の各情報が表示されます。

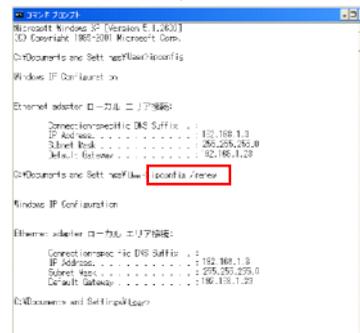
※ IP Address、Subnet Mask、Default Gateway が上記の数値とは異なる場合は、半角英数文字で「ipconfig /renew」と入力してください。IP Address、Subnet Mask、Default Gateway の各情報が再度表示されます。

※ 各情報が正常に設定されていない場合は、パソコンの電源を切ってから電源やケーブルなどの接続を確認し再起動してください。

※ 各情報は図で表示されているものと同じとは限りません。

※コマンドプロンプトを終了する場合は、キーボードから半角英数文字で「exit」と入力し Enter キーを押します。

※IP Address、Subnet Mask、Default Gateway 欄に各情報が表示されれば設定の確認は完了です。次に、24 ページの ADSL モデムの設定に進んでください。



6.4 パソコンの設定：Windows NT の場合

LAN カードの取り付けとドライバのインストールは、ご使用機器メーカーのインストール指示に従い、あらかじめ行ってください。

(1) コントロールパネルを開く



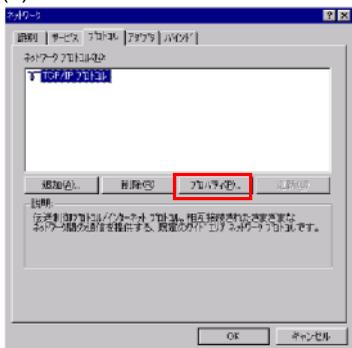
Windows NT を起動して「スタート」メニューから「設定(S)」→「コントロールパネル(C)」を選択して、コントロールパネルを開きます。

(2) ネットワークのプロパティを開く



コントロールパネルから「ネットワーク」のアイコンをクリックまたはダブルクリックをして開きます。

(3) TCP/IP のプロパティを開く



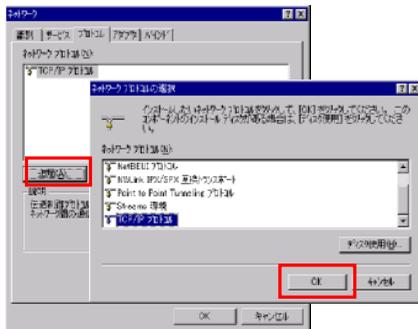
「ネットワークプロトコル(N)」一覧から「TCP/IP」または「TCP/IP -> <LAN カードの名前>」という項目を選択し(※)、「プロパティ(P)」ボタンをクリックします。

※ 一覧に「TCP/IP -> ダイアルアップ アダプタ」という項目が表示されている場合がありますが、これは ADSL モデムを使用する LAN カードの設定とは無関係ですので使用しません。

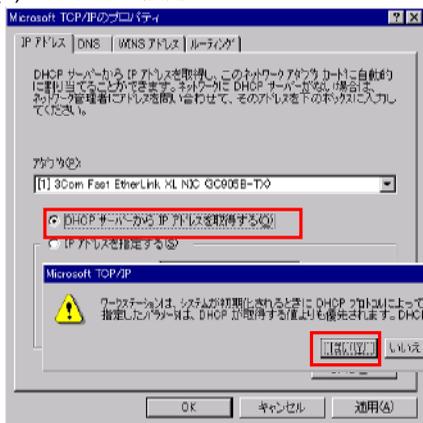
※ 一覧に「TCP/IP」あるいは「TCP/IP -> <LAN カードの名前>」という該当の項目がない場合「追加(A)...」ボタンをクリックしてください。

「ネットワークプロトコルの選択」一覧で「TCP/IP」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

これで「ネットワークプロトコル(N)」一覧に TCP/IP が追加されます。



(4) IP アドレスの設定



「TCP/IP のプロパティ」が開いたら「IP アドレス」タブをクリックして画面を切り替えて、「DHCP サーバから IP アドレスを取得する(O)」を選択します。

DHCP を有効にしますか? というメッセージは「はい(Y)」を選択してください。

(5) DNS の設定



「DNS 設定」タブをクリックして画面を切り替え、設定内容が

以下のようにになっていることを確認してください。

- ホスト名(N): 空白
- ドメイン(O): 空白
- DNS サービスの検索順序(S): 空白
- ドメインサフィックスの検索順序(F): 空白

(6) TCP/IP のプロパティを閉じる

「OK」ボタンをクリックして TCP/IP のプロパティを閉じます。

(7) ネットワークのプロパティを閉じる

ネットワークのプロパティに戻り、「OK」ボタンをクリックします。

※ 使用中のパソコンによって Windows の CD-ROM をセットするようというメッセージが表示されることがあります。その場合は、画面の指示に従って操作してください。

(8) パソコンの再起動

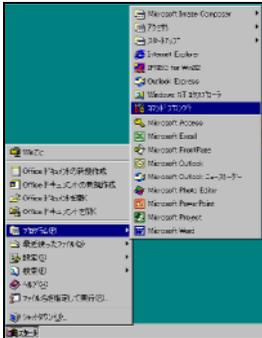
最後に「今すぐパソコンを再起動しますか？」というメッセージが表示されます。「はい(Y)」ボタンをクリックしてパソコンを再起動してください。

ネットワークの設定変更が必要なかった場合は、再起動を促すメッセージは表示されません。

6.4.1 設定の確認: Windows NT

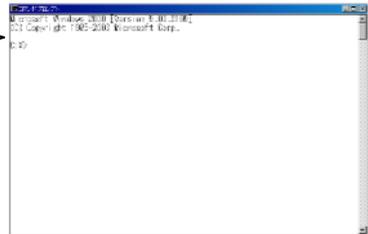
パソコン(LAN カード)と ADSL モデムが正しく接続・設定されているか確認したい場合、Windows NT ではコマンドプロンプトを起動して操作します。

(1) コマンドプロンプトの起動



「スタート」メニューから「プログラム(P)」→「コマンドプロンプト」を順次選択していき、「コマンドプロンプト」をクリックして実行してください。

開きます

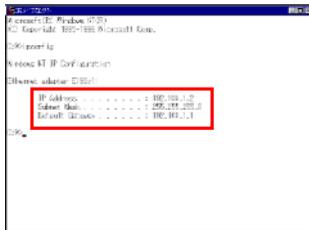


(2) ipconfig コマンド実行

コマンドプロンプトが開いたら、キーボードから半角英数文字で「ipconfig」と入力し Enter キーを押します。ipconfig コマンドを実行すると、

- IP Address…192.168.1.xx (xx は 2～33)
- Subnet Mask…255.255.255.0
- Default Gateway…192.168.1.1

の各情報が表示されます。



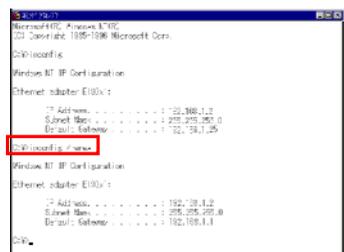
※ IP Address、Subnet Mask、Default Gateway が正しく設定されていない場合は、半角英数文字で「ipconfig /renew」と入力してください。IP Address、Subnet Mask、Default Gateway の各情報が再度表示されます。

※各情報が正常に設定されていない場合は、パソコンの電源を切ってから電源やケーブルなどの接続を確認し再起動してください。

※ 各情報は図で表示されているものと同じとは限りません。

※コマンドプロンプトを終了する場合は、キーボードから半角英数文字で「exit」と入力し Enter キーを押します。

※IP Address、Subnet Mask、Default Gateway 欄に各情報が表示されれば設定の確認は完了です。次に、24 ページの ADSL モデムの設定に進んでください。



7. ADSL モデムの設定

以前にダイヤルアップ(アナログ・ISDN など)による
インターネットをご利用されていた場合

7.1 へお進みください

初めてインターネットをご利用される場合
パソコンの再セットアップ後の場合

7.2 へお進みください

7.1 ダイアルアップからの設定変更 (Windows 95/98/Me/2000/XP/NT 共通)

これまで通常の方法と電話回線を使ってインターネットに接続していたパソコンをADSL接続に変更した場合は、インターネットの接続方法を確認してください。以下に示す画面例ではIE6.0を使用しています。その他のブラウザをご使用の場合は、各ブラウザの解説書を参照してください。

(1) インターネットオプションを開く

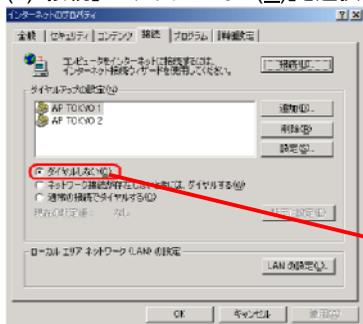
・ Windows 95/98/Me/2000/NT

「スタート」メニューから「設定(S)」→「コントロールパネル(C)」を選択してコントロールパネルを開いたら、「インターネット オプション」をクリックまたはダブルクリックして開きます。

・ Windows XP

「スタート」メニューから「コントロールパネル(C)」を選択してコントロールパネルを開いたら、「ネットワークとインターネット接続」を選択し、「インターネット オプション」をクリックして開きます。

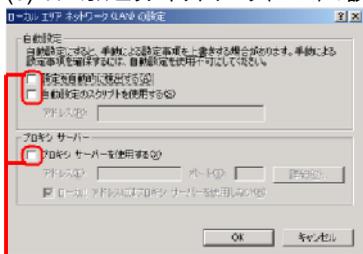
(2) 「接続」で「ダイヤルしない(C)」を選択する



「インターネットのプロパティ」が開いたら「接続」タブをクリックして画面を切り替えます。「ダイヤルアップの設定」で、「ネットワーク接続が存在しないときには、ダイヤルする」や「通常の接続でダイヤルする」が選択されている場合は、「ダイヤルしない」を選択してください。

※「ダイヤルしない」にチェックがついていること

(3) 「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」のチェックボックスを確認



※全てチェックがついていないこと

また、「LAN の設定...」ボタンをクリックして「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」を開いたら、「設定を自動的に検出する」、「自動設定のスクリプトを使用する」、「プロキシサーバーを使用する」のチェックボックスが選択されていないことを確認してください。

もし、チェックボックスにチェックマークがついている場合は、すべてのチェックマークを外して「OK」ボタンをクリックしてください。

7.2 モデム設定画面へのログインへお進みください。

7.2 モデム設定画面へのログイン

Web ブラウザを起動し、アドレス欄に「http://192.168.1.1」を入力し、Enter キーを押してください。以下のような「状態表示」画面が表示されます。

※Internet Explorer を初めて起動したとき、「インターネット接続ウィザード」というダイアログが起動することがあります。この場合「キャンセル」をクリックしてウィザードを一旦終了して下さい。

(「インターネット接続ウィザード」の詳しい設定手順は、Internet Explorer の解説書などをご参照ください)



上記画面が表示されましたら、「簡単設定」をクリックしてください。クリックすると、以下のログイン画面が表示されます。

ログイン画面



- ①ユーザー名に「admin」と入力して下さい。
- ②パスワードを入力して OK をクリックしてください。(パスワード:admin)
- ③正常にログインできると「簡単設定」画面が表示されます。

7.3 モデム設定

- ①画面左にある「簡単設定」をクリックします。

(画面は次ページを参照ください。)

- ②下表の項目を入力します。

(設定内容はプロバイダから送付された案内書等を確認してください。)

項目	意味	入力内容
ログインタイプ	ログインの種類を選択します。	「PPPoE ログイン」が選択されていることをご確認ください。
PPPoE ユーザ ID	お客様の認証サーバ用ユーザ名を登録します。	プロバイダより発行された PPP アカウントをご入力ください。
PPPoE パスワード	お客様の認証サーバ用パスワードを登録します。	プロバイダより発行された PPP パスワードです。
パスワードの確認(再入力)	「PPPoE パスワード」を再入力します。	上記パスワードを再入力してください
認証方式	認証方式を指定します。	「CHAP」が選択されていることをご確認ください。
DNS リクエストに対し送信すべきドメインネーム	プロバイダのネームサーバにドメイン名を通知します。	空欄であることをご確認ください。
プライマリ DNS サーバアドレス	ドメイン名解決するためのプライマリサーバを指定します。	空欄であることをご確認ください。
セカンダリ DNS サーバアドレス	ドメイン名解決するためのセカンダリサーバを指定します。	空欄であることをご確認ください。

- ③「PPP ログインオプション」の中にある「更新」ボタンをクリックします。

- ④「設定保存」ボタンをクリックします。

しばらくすると、「設定保存されました」と表示されまして、入力していただきました PPP アカウント・PPP パスワードがモデムのフラッシュメモリに保存されます。

簡単設定画面

BR10A-C2H Ver.2.10 (Default Settings for h555.net) - Microsoft Internet Explorer

BR10A-C2H

- 状態表示
- 簡単設定
- ▶ 設置環境
- ▶ 各種設定

簡単設定

このページでは、ご契約のサービスプロバイダ(ISP)と接続するために必要な認証およびログインの設定を行います。

ログインタイプ

ログインなし / DHCP
 PPPoE ログイン

PPPoE ログイン設定

PPPoE ユーザID:
PPPoE パスワード:
パスワードの確認 (再入力):

PPPoE ログインオプション

認証タイプ:

ISPのネームサーバのホスト名解決を成功させるために、以下のオプションを設定する必要がありますが変更する場合があります。

DNS クエストに対し送信すべきドメインネーム:

DNS リレー

DNSリレーの機能は無効になっています。

DNS リレー設定

DNS サーバアドレスを設定してください。

プライマリ DNS サーバアドレス
セカンダリ DNS サーバアドレス

[ヘルプ](#)

インターネット

7.4 設定の確認

- ①画面左にある「状態表示」をクリックします。
- ②状態表示にある PPPoE 接続が「接続完了」になることを確認します。

BR10A-C2H

- **状態表示**
- 簡単設定
- ▶ 装置環境
- ▶ 各種設定

状態表示

インターネットの接続状態や装置の状態を表示します。

状態表示

PPPoE 接続: 接続完了 切断

接続時間: 00:00:09s

切断までの時間: 00:59:53s

WAN IP アドレス: 210.146.81.28 [WAN 設定へ](#)

LAN IP アドレス: 192.168.1.1 [LAN 設定へ](#)

※PPPoE 接続が「接続完了」にならない場合は、下記の表を参考に設定の再確認を行ってください。

PPPoE 接続	状態
「接続処理中」	PPPoE のセッション確立中です。 長時間表示される場合は、PPP アカウント、パスワードの入力に誤りが考えられます。 プロバイダから指定された設定内容をもう一度確認し、再設定してください。
「ユーザ、パスワード確認中」	PPP アカウント、パスワードを確認中です。
「設定誤り」	「簡単設定」画面でお客様に設定いただいた項目に誤りがあり PPPoE のセッション確立に失敗している状態です。 プロバイダから指定された設定内容をもう一度確認し、再設定してください。
「無通信切断中」	PPPoE のセッション確立後、連続1時間以上お客様が Internet へアクセスしなかった為、ADSL モデムが PPPoE セッションを一時切断している状態です。 再度お客様が Internet へアクセスした際に、自動的に PPPoE セッションを再接続し、状態表示が変化しますので再度ご確認ください。

これで ADSL モデムの設定は終了です。次に 30 ページの「8.インターネットに接続する」に進んでください。

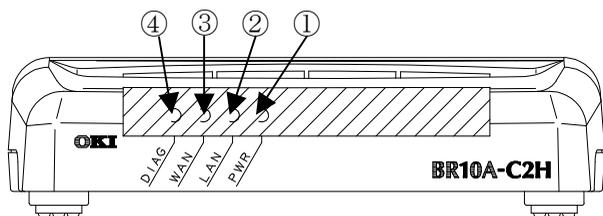
(MacOS をお使いの方は、31 ページ「9.MacOS をお使いの方は」に進んでください。)

8. インターネットに接続する

8.1 インターネットに接続する(Windows 95/98/Me/2000/XP/NT 共通)

パソコンの設定が終了したら、デスクトップの「Internet Explorer」アイコンをクリックまたはダブルクリックして Internet Explorer を起動し、ホームページが正しく表示されるかどうか確認してください。

また、本装置のランプが以下のような表示になることを確認してください。



ランプ	表示
①PWP	緑点灯
②LAN	緑点灯または点灯
③WAN	緑点灯(注)
④DIAG	消灯

※回線の状態等によって、インターネットへの接続に多少時間がかかる場合があります。
※インターネットを長時間ご利用されなかった場合は、一時的にインターネットから切断され WAN ランプが点滅しますが、これは正常な動作です。インターネットをご利用される際は、自動的に再接続いたします。

9. MacOS をお使いの方は

9.1 パソコン(TCP/IP プロトコル)の設定: MacOS 9.04 以降の場合

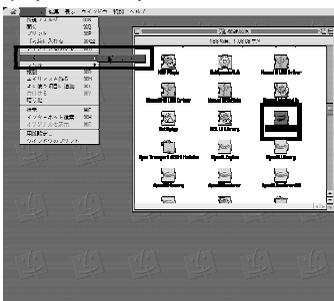
LAN カードの取り付けとドライバのインストールは、ご使用中の機器メーカーのインストール指示に従い、あらかじめ行っておいてください。

(1)機能拡張フォルダを開く



ADSL モデムを利用するには、「Open Transport」のバージョンが 2.7 以上であることが必要です。ここでは、インストールされている「Open Transport」のバージョンの確認を行います。MacOS 9.04以降を起動して、ハードディスクアイコンをダブルクリックします。「システムフォルダ」をダブルクリックして開き、「機能拡張」フォルダをダブルクリックします。

(2)Open Transport の情報確認



「機能拡張」フォルダの中から「Open Transport」という書類をクリックし、メニューバーから「ファイル」→「情報を見る」→「一般情報」を選択します。

(3)Open Transport のバージョン確認



Open Transport のバージョンが 2.7 以上であることを確認します。確認が終わったらウィンドウを閉じます。

※Open Transport のバージョンが 2.7 以上でなかった場合は、アップルコンピュータのホームページでアップデートをダウンロードして使用してください。

9.1.1 設定の確認: MacOS 9.04 以降の場合

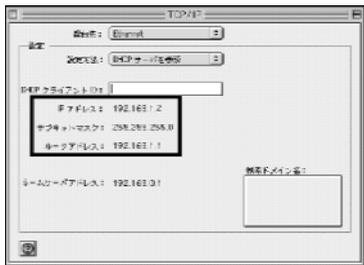
MacOS 9.04 以降でパソコン (LAN カード) と ADSL モデムが正しく接続されているかどうか確認したい場合には以下のようにしてください。

(1) コントロールパネルを開く



「アップル」メニューから「コントロールパネル」→「TCP/IP」を選択して、「TCP/IP」設定ウィンドウを開きます。

(2) ネットワークの設定確認



ネットワークの設定が設定前と変更されていることを確認します。確認する箇所は以下のとおりです。

- IP アドレス…192.168.1.xx (xx は 2～33)
- サブネットマスク…255.255.255.0
- ルータアドレス…192.168.1.1

これらのアドレスはすべて自動で設定されます。

(3) 「TCP/IP」設定ウィンドウを閉じる

ネットワークの設定が終了したら、「TCP/IP」設定ウィンドウを閉じます。このとき、「変更内容を現在の設定に保存しますか？」というメッセージが表示された場合は、「保存しない」をクリックします。

※IP アドレス、サブネットマスク、ルータアドレスの欄に各情報が表示されれば設定の確認は完了です。次に、24 ページの ADSL モデムの設定に進んでください。

9.2 パソコン(TCP/IP プロトコル)の設定:MacOS X の場合

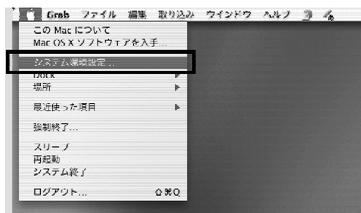
LAN カードの取り付けとドライバのインストールは、ご使用中の機器メーカーのインストール指示に従い、あらかじめ行っておいてください。

(1)システム環境設定を開く



※ MacOS X の標準状態では、Dock に「システム環境設定」のアイコンが登録されています。Dock から削除してしまった場合は、「アップル」メニューから「システム環境設定」を選択します。

Dock 上の「System Preferences」アイコンをクリックして、「システム環境設定」を開きます。



(2)ネットワークの設定項目を開く



「システム環境設定」のウィンドウから「ネットワーク」をクリックします。

(3)ネットワークの種類を選択



「ネットワーク」ウィンドウのタブの上部にある「設定」リストより、「内蔵 Ethernet」を選択します。

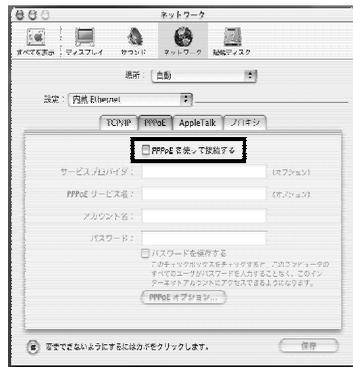
(4)TCP/IP 設定



「TCP/IP」タブをクリックし、TCP/IP の設定画面を表示します。設定内容が以下のようになっていることを確認します。

- 「設定」 :「DHCPサーバを参照」
- 「DHCPクライアントID」: 空白
- 「ドメインネームサーバ」: 空白
- 「検索ドメイン」 : 空白

(5)PPPoE のチェックを外す



「PPPoE」タブをクリックし、PPPoEの設定画面を表示します。チェックマークがついている場合はチェックを外します。

(6)AppleTalk のチェックを外す



「AppleTalk」タブをクリックし、AppleTalk の設定画面を表示します。「AppleTalk 使用」にチェックマークがついている場合は、チェックを外します。

(7)プロキシの設定



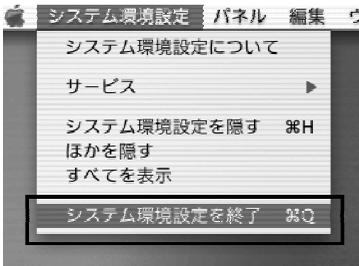
「プロキシ」タブをクリックし、プロキシの設定画面を表示します。ここでチェックマークがついている場合は、すべてのチェックを外します。

(8)ネットワーク設定を保存する



ネットワークの設定が終了し、変更した部分があった場合は、右下の「保存」ボタンをクリックします。また、保存ボタンを押さないでほかの設定を行う場合、「設定の変更点を保存しますか?」というメッセージが表示されるので、「保存する」をクリックします。

(9)システム環境設定を終了する



メニューバーの「システム環境設定」→「システム環境設定を終了」を選択して終了します。

9.2.1 設定の確認: MacOS X の場合

MacOS X でパソコン (LAN カード) と ADSL モデムが正しく接続されているかどうか確認したい場合には以下のようにしてください。

(1) システム環境設定を開く



Dock 上の「System Preferences」アイコンをクリックして、「システム環境設定」を開きます。「システム環境設定」ウィンドウから「ネットワーク」をクリックします。

(2) ネットワークの種類を選択



「ネットワーク」ウィンドウのタブの上部にある「設定」リストより、「内蔵 Ethernet」を選択します。

(3) TCP/IP の確認



「TCP/IP」タブをクリックして TCP/IP の設定画面を表示し、IP アドレスが割り当てられていることを確認します。

・IP アドレス…192.168.1.xx (xx は 2～33)

このアドレスはすべて自動で設定されます。

(4) システム環境設定を終了

メニューバーの「システム環境設定」→「システム環境設定を終了」を選択して終了します。

※IP アドレスの欄に情報が表示されれば設定の確認は完了です。次に、24 ページの ADSL モデムの設定に進んでください。

9.3 インターネットに接続する(MacOS 9.04 以降/X 共通)

パソコンの設定が終了したら、Internet Explorer を起動し、ホームページが正しく表示されるかどうか確認してください。

・Internet Explorer を起動する

・ MacOS 9.04 以降の場合

デスクトップの「WWW ブラウザ」アイコンをダブルクリック(ボタン表示の場合はシングルクリック)して、Internet Explorer を起動します。

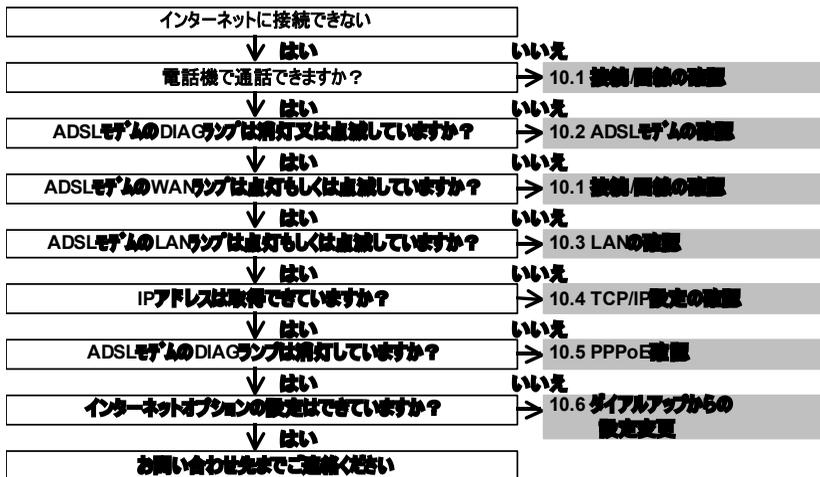
・ MacOS X の場合

Dock 上に登録されている「Internet Explorer」アイコンをクリックして、Internet Explorer を起動します。

※ Internet Explorer を初めて起動したとき、「インターネット接続ウィザード」というダイアログが起動することがあります。この場合「キャンセル」をクリックしてウィザードを一旦終了して下さい。

(「インターネット接続ウィザード」の詳しい設定手順は、Internet Explorer の解説書などをご参照ください)

10. 困ったときは



10.1 接続/配線の確認

- 5 ページ「4.通信機器の接続方法」を参考して、スプリッタ、ADSL モデム、電話機等の配線を確認して、接続をやり直してください。
- スプリッタに接続している電話機がつかない場合は、電話会社の故障窓口にご相談ください。
- 同じ宅内配線にドアフォン/インターフォン/ACR、他の電話機器が接続されている場合、ADSL 回線が利用できないことがあります。ご契約されたプロバイダ(ISP)にご相談ください。

10.2 ADSL モデムの確認

- DIAG ランプが点灯の場合、装置が何らかの障害状態です。ご契約されたプロバイダ(ISP)のお問い合わせ先にご連絡ください。

10.3 LAN の確認

- 5 ページ「4.通信機器の接続方法」を参考に、LAN の接続を確認して接続をやり直してください。
- 接続に問題がなければ、LAN カードが正しく動作しているか確認してください。なお、LAN カードについてのトラブルは、パソコンあるいは LAN カードのメーカーにご相談ください。

10.4 TCP/IP 設定の確認

- IP アドレスが取得できていないときは、以下を参考にして TCP/IP の設定を確認してください。

Windows 95/98/Me の設定・確認	7 ページの 6.1 へ
Windows2000 の設定・確認	11 ページの 6.2 へ
Windows XP の設定・確認	15 ページの 6.3 へ
Windows NT の設定・確認	20 ページの 6.4 へ
MacOS 9.04 以降の設定・確認	31 ページの 9.1 へ
MacOS X の設定・確認	34 ページの 9.2 へ

※ その他の OS をお使いの方は、各 OS のマニュアルに記載されている方法で TCP/IP の各設定情報を DHCP サーバーから取得するように設定してください。

10.5 PPPoE 確認

- 24 ページ「7.ADSL モデムの設定方法」に従い簡単設定画面を開き PPP アカウント、PPP パスワードを確認してください。

10.6 ダイヤルアップからの設定変更

- Windows 95/98/ME/2000/XP/NT の場合、通常のもデムと電話回線を使用してインターネットに接続していたパソコンを ADSL 接続に変更した場合は、25 ページ「7.1.ダイヤルアップからの設定変更」を参考にインターネットの接続方法を確認してください。

発行元 関西ブロードバンド株式会社

2003年6月1日発行

- ・ 本冊子の一部または全部を無断複写・転載することを禁じます。
- ・ 本冊子の製品に対する記述は情報を提供する目的で書かれたもので、保証するものではありません。

Kansai Broadband Corp. [OKI BR10A-C2H] Manual Ver.3.0.3